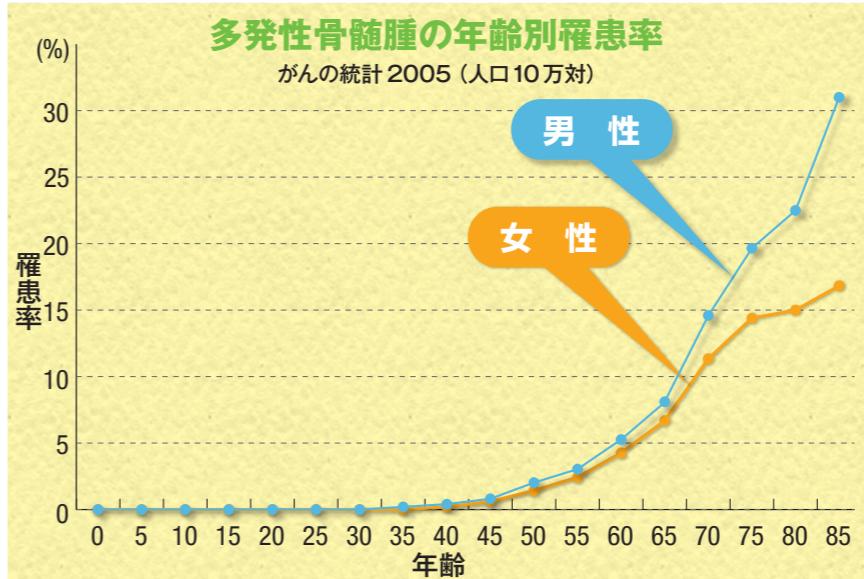


には効くことがわかつたんです。

——えつ、あのサリドマイド！

金丸 サリドマイドは胎児の四肢発育を抑制することで社会的に問題となりました。がん細胞ではこの薬が、増殖抑制に働くから骨髓腫に効くのではという説もありますが、現時点ではどうして効くかわからない。

——理由はわからないけど、効く…。



うか？ 海外でVISTA試験という名前でこれが行われ、MP療法を大きく上回る結果が出ました。世界的に標準治療となり、2011年日本でも保険適応になりました。

——「死の病」ではなくなった！  
金丸 そうです。このVMP療法に加えて、サリドマイドをさらに変化させて効果を高めたレブラミドという薬も登場し、こちらもすばらしい効果を出しています。

をしました。患者さまにも私も、やっと光が当てられました（笑）。

——最後に何かメッセージは？  
金丸 高齢社会を迎えたいま、この病気は増えつつあります。腰の痛みがあり、めまいやむくみがあるときは、多発性骨髓腫を疑ってみてください。従来治療では考えられない、すばらしい効果のある薬剤を駆使して、われわれ専門医が全力で治療に当たります。いつかは完治する日が来るものと信じていますから。

——お話をありがとうございました。  
金丸 私、医者になつて30年経ちますが、患者さまに接していく中で、何度も何度も悔しい思いをしました。患者さまにも私に、も、やっと光が当てられました（笑）。

——治療は難しいですか？  
金丸 ベルケイドは注射薬で2ccくらい打つだけ、レブラミドは飲み薬。大学病院でなくとも私どもの病院で十分に治療できます。昔は絶対治らないといわれたこの病気が、1ヵ月間は副作用を診るために入院治療をしますが、後は外来通院で治療できます。注射打つて週に1~2回打つだけ。毎日打つ必要はありません。

——一画期的なことだったんですね！  
金丸 そうですね。MP療法では薬がある量を超えると発がん頻度が上がりますが、少ない量であれば発がんしない。これにベルケイドを上乗せしたV(ベルケイド)+MP療法でやってみたらどう



医療法人財団 明理会 明理会中央総合病院  
〒114-0001 東京都北区東十条3-2-11  
TEL.03-5902-1199 http://www.ims.gr.jp/meirikaichuo/

◎記事内容に関するお問い合わせ 03-5902-1055 (地域医療連携支援室)

# もう、不治の病ではなくなった！ 血液のがん・多発性骨髓腫は 薬で治る・・・。

多発性骨髓腫という血液がんをご存知ですか？  
明確な自覚症状がなく、骨に穴を開け、  
延命以外治療法がなく、発症後5年以内にほとんどの  
患者さまは亡くなるという「死の病」でした。

いま、この恐ろしい病の生存期間を

劇的に延長する治療法が、注目されています。

その治療の最新情報を、

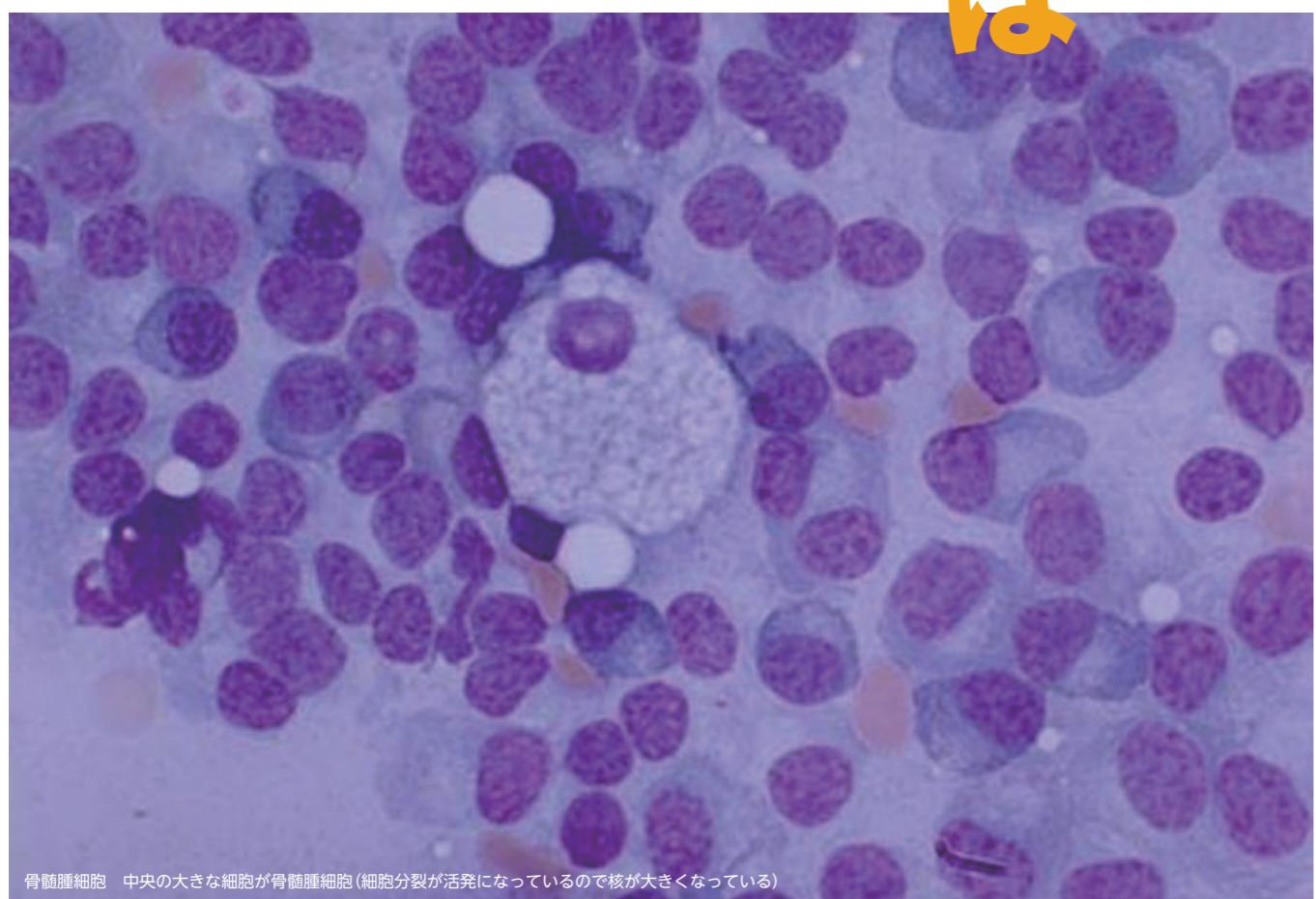
明理会中央総合病院院長で

血液内科の専門医・

金丸峯雄先生に伺いました。



マイ・ホスピタル Vol.33  
(2012.4)より抜粋

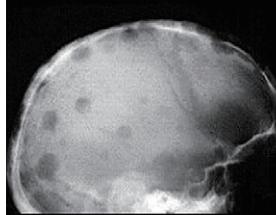


骨髓腫細胞 中央の大きな細胞が骨髓腫細胞(細胞分裂が活発になっているので核が大きくなっている)

## 多発性骨髄腫に みられた骨打ち抜き像



脊椎骨の溶骨性変化



骨の抜き打ちは、頭蓋骨に多く、骨盤、鎖骨、肩甲骨などで認められる

——  
**金丸** 多発性骨髄腫はだいたい大学病院での血液がんの治療は移植が主流です。骨髄腫は移植できる患者さまが少ないので。  
——  
**金丸** それはまだどうして?  
ええ。それだけじゃないんですよ。せっかく大学病院へいつても、十分な治療ができないこともあります。

——  
**金丸** ほとんどの患者さまが移植治療できない!?

50歳以上の病気で、60歳、70歳以上の方、それも男性に多いんです。ところが、移植治療の対象年齢は55歳以下とされていますから…。  
——  
**金丸** またまた、それはどうして?  
ええ。自分の造血細胞を使用する自家移植を除き、血縁者、非血縁者移植(骨髄バンク移植も含む)においては、55歳以上の方の移植では合併症の死亡率がものすごく高いんです。他人の免疫系が入るわけですから、他人の免疫担当細胞が片つ端から身体を攻撃してきます。肝臓も腎臓も肺も皮膚も見境なしに攻撃します。免疫抑制剤で激しい攻撃を抑えつつ、身体が新たな免疫

骨にいくつも穴が空く…  
——  
**金丸** 多発性骨髄腫ってどんな病気ですか?

——  
**金丸** 特徴的な所見はありますか?  
骨髄腫では、骨打ち抜き像と呼ばれる骨変化が見られます。骨髄腫細胞はある因子を介して骨を吸収する破骨細胞に働きます。破骨細胞が活発になります。そこで効果がないと、腰の痛い人には整形外科、腎臓が悪ければ腎臓内科、貧血があれば胃腸科、肝臓が悪ければ肝臓科へと…。診断されたときは…。  
——  
**金丸** ええ。それだけじゃないんですよ。せっかく大学病院へいつても、十分な治療ができないこともあります。

——  
**金丸** 骨髄腫では、骨打ち抜き像と呼ばれる骨変化が見られます。骨髄腫細胞がある因子を介して骨を吸収する破骨細胞に働きます。破骨細胞が活発になります。結果として、骨に小さな穴が開いたようになり、骨打ち抜き像と…。  
——  
**金丸** 手遅れになるケースですね。

——  
**金丸** ええ。それだけじゃないんですよ。せっかく大学病院へいつても、十分な治療ができないこともあります。  
——  
**金丸** ええ。それだけじゃないんですよ。せっかく大学病院へいつても、十分な治療ができないこともあります。

——  
**金丸** 造血幹細胞中のリンパ細胞の中で免疫グロブリン(抗体)を作る形質細胞ががん化して、血液中に異常な免疫グロブリン(Mタンパク)が増加する、血液のうんを多発性骨髄腫といいます。

——  
**金丸** ええ。胃がんや肺がん、大腸がんでも骨に穴が空きますが、だらけになった骨はそのうちに、グシャッと崩れて骨折を起こします。壊れた骨からカルシウムが血液の中に溶け出し、ある限界量を超えると高カルシウム血症となります。このレベルになると色々な症状と身体の障害が出ます。

——  
**金丸** 全身の骨に見られ、レントゲンでは頭蓋骨、背骨、肩、腰の骨などに小さな穴がたくさん開いたように見えます。

呼ばれる変化が起きます。これ

は全身の骨に見られ、レントゲンでは頭蓋骨、背骨、肩、腰の骨などに小さな穴がたくさん開いたように見えます。

——  
**金丸** 骨が溶ける段階では、背

や腰の骨の骨折による腰痛

や、背骨からなる神経を圧迫し

て神経痛やおしつこが出にくくなる。カルシウムが多くなると

口が渴く、頭がボウっとなる、人

による傾眠という脳症状です。

全身がむくみ、尿が出にくくな

り、呼吸困難を起こします。これ

は腎臓の症状と心不全の症状で

す。血を作る骨髄が侵されます

から、貧血が起きて顔色が悪く

なり、息切れがでるなど…。

——  
**金丸** これという症状はあるんですね?

——  
**金丸** 特有の症状はありません。胃がんなら吐血、大腸がんなら下血があり、肺がんなら咳が出る…。骨に穴が空いて腰には痛みが出ますが、他の場所では痛みもほとんどありません。多発性骨髄腫で一番多いのが腰痛です。

——  
**金丸** 腰痛のほかには?

——  
**金丸** だるい、めまい、むくみ、口の渴き、しびれ、発熱など、よくあらわれる紛らわしい症状ばかりです。

——  
**金丸** 見過ごしがちな症状ですね。

——  
**金丸** 残念ですが、がん遺伝子と正常遺伝子を区別して治療する薬ではありません。それで繰り返し治療を行っていると、修復機転の限界が来て、がん化が始まります。抗がん剤による2次発がんと呼びます。

——  
**金丸** M-P療法は始めは効果があるのですが、治療を続けるうちに効かなくなる患者さまが増えます。それでも治療を継続していくと、2次発がんが出てくる。ほとんどの方が5年以内に死亡、平均余命3~4年という悲惨な状態でした。でも今は違います。

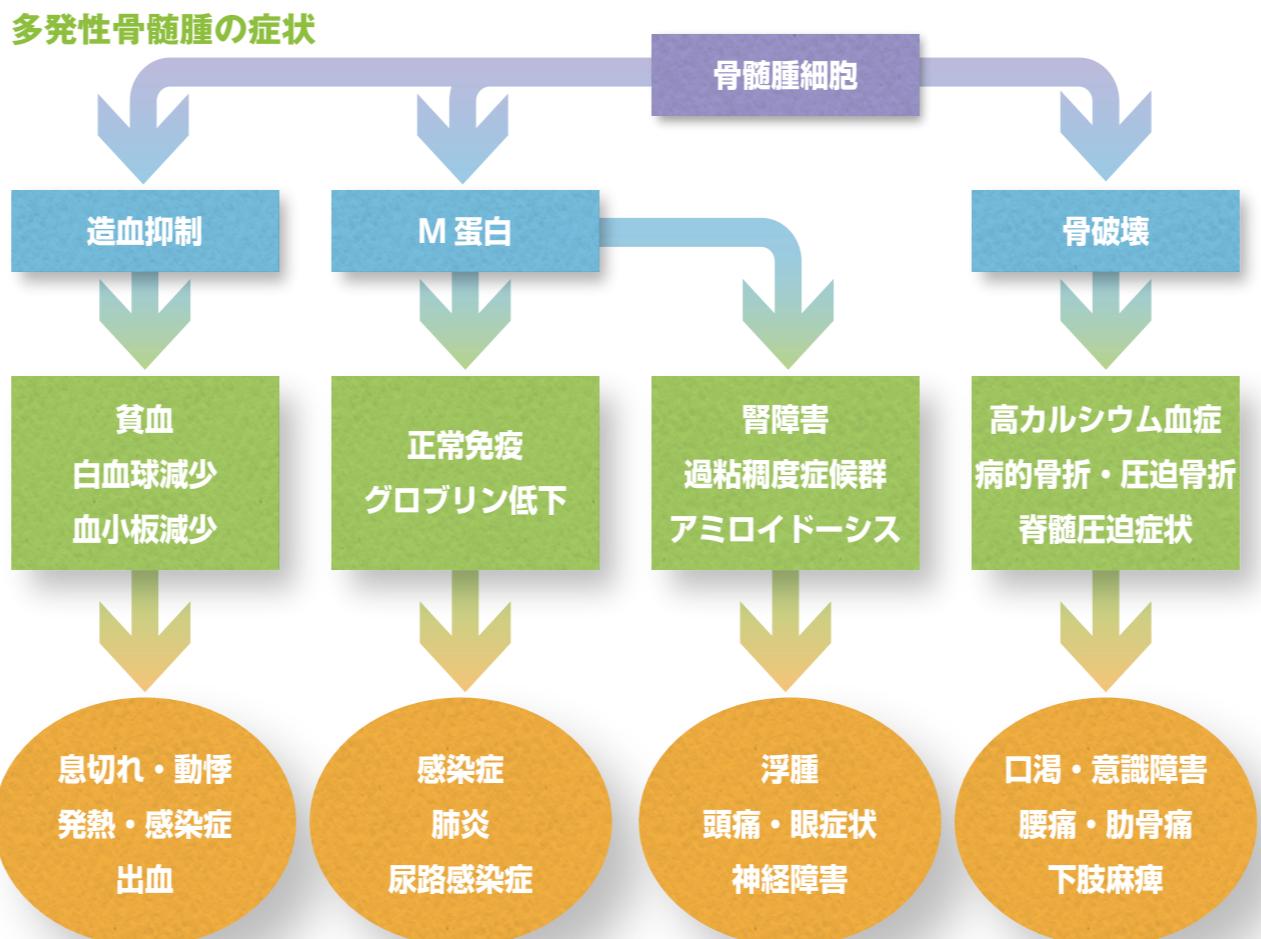
——  
**金丸** 最新の治療法の登場ですね!

——  
**金丸** はい。1990年代になると、60年代に寄せた問題になつたサリドマイドが、多発性骨髄腫



日本内科学会認定医  
日本血液学会血液専門医  
日本血液学会指導医  
日本がん治療認定医機構暫定教育医  
明理会中央総合病院  
院長

かねまる みね お  
**金丸 峯雄 医師**



## 治せる病気になつた 多発性骨髄腫

——  
**金丸** どんな治療法ですか?

——  
**金丸** はい。1990年代になると、60年代に寄せた問題になつたサリドマイドが、多発性骨髄腫